

第 10 回アンケート結果（抜粋）

1. 一般講演 3：「人材育成支援システムを活用した人材育成の取り組み」

1. 技術トレーニング管理システムとして構築・運用している実績は、たいへん意義がある。他社への応用展開モデルが開発できるとおもしろい。
ありがとうございます。そうなるとうれしいと 생각합니다。
現段階では、他社への応用展開までには至っていません。
まずは、当社の育成モデル確立に努力していきます。
2. 上長ならびに「その上」のコミットを引き出すうえで、有効な手法だと思います。教育予算の確保は、実績のアピール／経営上の効果と結びつけて説明できるかどうかはキーでしょうか。たとえば、定着率（離職率）などは？
ソフト分野については、スキル診断や情報処理試験で ITSS のレベル判定を実施しているので、ITSS レベルの推移で実績をアピールしています。
しかし経営上の効果までは結び付けられてはおりません。
経営上の効果に結び付けたいという議論はあり、今後の課題と考えております。
3. なぜ「教育カルテ」を選ばれたのか、が知りたかったです。
すでにノーツを導入していたため、「教育カルテ（製品名）」は使い方を理解しやすく、導入・運用が比較的やさしいシステムだったことが理由のひとつに挙げられます。
4. 受講者への動機づけの部分について、効果を伺いたいと感じました。
上長からの教育・育成方針が示されるため、どのようなスキルを UP を求められているかがわかり易くなり、受講の動機づけになっています。
5. スキル診断には統一された試験をパスしたことで決められているのですか？
ソフトウェア技術者のスキル診断は、ITSS 準拠のスキル診断ツールで統一しています。
アンケートによる自己評価と、テストによる客観評価を組み合わせたスキル診断ツールを採用しています。
6. 素晴らしいシステムと取り組みだと思います。これらのシステム導入による定量的な効果測定方法、評価法が生まれるとよいと思いますが。
ありがとうございます。今回は、人材育成支援システムを活用した人材育成の取り組みについてご紹介しました。機会がありましたら、定量的なデータで効果や評価について事例をご紹介させていただきたいと思っております。